



飛騨っ子



令和6年8月14日発行 NO5
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
 家庭教育推進専門職：水口 悟
 TEL: 0577-33-1111 (内線 235)
 E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp



心の居場所と絆づくりの場

< 通信【飛騨っ子】 >

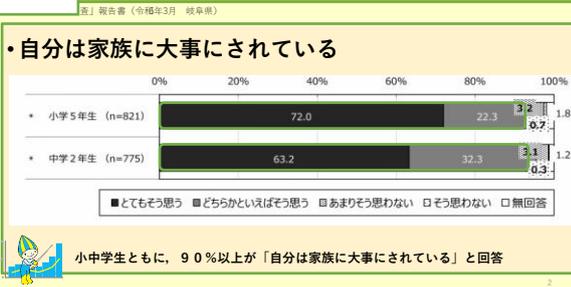
◇ 生徒指導連携強化委員会 兼 家庭教育推進会議 主催：飛騨教育事務所・飛騨県事務所（5/28）



- テーマ 「チーム飛騨」で、すべての子に「居場所と絆」をつくる！～「あったかい言葉かけ運動」の推進を通して～
- 趣 旨 ①問題行動や不登校の未然防止について危機意識をもつ
②家庭教育力の向上

飛騨管内の子どもたちに関わる様々な立場の方々（園・学校・社会教育・行政等）約80名が集まり、テーマについて交流が行われました。

表1 岐阜県の子どもの現状



【表1】小中学生（小5中2）ともに、90%以上が「自分は家族に大切にされている」と回答 R6 岐阜県「子ども調査」

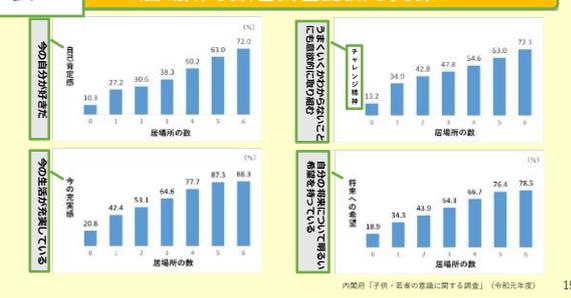
【表2】平成30年度と今年度を比較すると「自分は価値のある人間だと思う」の回答（小5中2）が増加 R6 岐阜県「子ども調査」

【表3】居場所の数が多いほど…（1→6）
 左上）今の自分が好き 左下）今の生活が充実している
 右上）うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む
 右下）自分の将来について明るい希望を持っている
 （R元 内閣府「子供・若者の意識に関する調査」）

表2 岐阜県の子どもの現状



表3 居場所の数と自己認識の関係



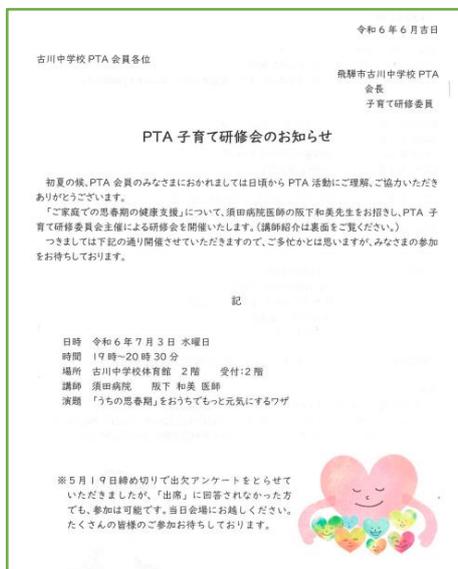
冒頭で紹介されたいくつかの調査結果は、子どもたちの現状が大変分かりやすいです。家庭における豊かなコミュニケーションや地域の皆さんによるあたたかい言葉かけは、「あなたには〇〇なステキなところがあるよ。」「独りぼっちじゃないよ。」というメッセージを伝えています。そして、言葉をかける保護者(大人)自身も、あたたかい気持ちになり、ともに成長できる運動です。夏休みにも、様々な場所でこの運動が広がっていることでしょう。

「あったかい言葉かけ」運動や「話そう!語ろう!わが家の約束」運動は、同じ意味をもった運動です。現在、飛騨地区で取り組まれている2つの運動は、子どもたちの‘心の居場所’や‘絆づくりの場’をつくり出しています。

◇ 飛騨市立古川中学校 講演会型 家族の大切さ 命に大切さ 基本的な生活習慣

○ 期日:令和6年7月3日 19:00~20:30 ○ 会場:飛騨市立古川中学校 体育館

○ 演題:「うちの思春期」をおうちでもっと元気にするワザ ○ 講師:小児科医・精神科医



飛騨市では、思春期の子どもの健康向上を目指し、専門医による「飛騨市思春期健診」の試行が始まりました。この健診には「親子で健康について話したり家族みんなで健康になる工夫を考えたりするきっかけとなってほしい。」という願いが込められています。

校長先生曰く「子どもたちを真ん中において、一人の子どもに関わる大人が増えています。医療に関わる専門職の方が子どもに関わっていただけることは、大変嬉しいです。子どもたちをチームとして育てることの大切さを痛感しています。」

地域の方々と連携し、子どもたちの居場所が増えることは素晴らしいことです。子育て研修委員会の皆さんが企画した講演会(家庭教育学級)には、たくさんの方々が参加されました。



<教育×医療で 子どもたちを支える>

<事前アンケート>

- ・思春期の子への接し方、どこまで踏み込めばよいか悩みます。
- ・子どもが親に辛いことや心配なことを言いやすいようにするには、ふだんからどのように接するとよいのか教えてください。

講演:「うちの思春期」をおうちでもっと元気にする ワザ

- その1 発達(思春期の時期)を知る
- その2 健やかな生活習慣を知る
- その3 接し方を知る
- その4 自分の課題を知る
- その5 自分の仕事を知る(親の仕事=子を愛すること)



Q(役員) 本校では、レジリエンスカ(立ち直り力、回復力)を大切にしています。レジリエンスカを育てにはどんなことが大切でしょうか。

A(講師) 人間関係の中で、いかに助けを求める力を育てるかという点が大切だと思います。助けを求めることによって元に戻れたという感覚、また自分には長所ばかりではなく短所もあるけれど、〇〇したらできたよ!という感覚を増やしていくことが大切だと思います。

PTA 会長さんが、お礼の挨拶の中で「子どもたちは思春期の中で成長しているので、親も一緒になって成長していくことの大切さを感じました。子どものレジリエンスカを支えられる親であるよう努めたいです。」と話されました。

<感想>

- ・わが子みな思春期真っ只中にいますが、思春期の子どもへの接し方はあまり考えてなかったなと思いました。これからできそうなことがたくさんあるので、上から目線ではなく同じ目線で過ごしていけたらと思います。
- ・助けを求めることが大事だと思いました。けれど、助けを求めること=人に迷惑をかけてしまうことと思っています。上手に助けを求める方法が知りたいです。
- ・私は、講師の方が話された「無意識に発している言葉」をすべて言っていて、笑ってしまいました。いつもわが子と喧嘩になる原因がなるほどなあと、よくわかりました。

◇ 高山市立東小学校 4年生 学校行事参加型 + 体験活動参加型 思いやり

- 期日:令和6年7月5日(金) 13:40~
- 会場:体育館
- 対象:4年生の親子(約130名)
- 講師:高山市社会福祉協議会



東小学校では、授業参観日を親子で一緒に学ぶ機会として、大切に取り組んでいます。理由は「親子で学んだ知識を家庭に帰ってからも話題にするなどして、日常的に活用できるようにしたいからです。」と、教頭先生が話してくださいました。

講師の方が「今日は、お家の方と一緒に身体を動かしながら、ふだんのくらしの幸せ(ふくし)について考えてみましょう。」と、話され授業が始まりました。



○ 学習1 思いを伝えること

- ◇「1月生まれから順に並んで1つの輪をつくろう!」
- ◇ルール:自分の誕生日を言葉を使わずに様々な方法で伝える。お互いに身振り手振りで懸命に、自分の誕生日を伝え合います。親と子の、親同士の、子ども同士の、言葉を使わないコミュニケーションが盛んに続きます。言葉が使えないとなると、人は相手の目をしっかり見るものです。とても大切なことです。

中央に混雑していた状態から(1)、徐々に輪の姿が現れ始め(2)、最後には静かな着座の輪ができて上がりました。(3)講師の方を挟んで左側から1月生まれの親と子、輪をぐるっと回って右側が12月生まれの親と子が座っています。参加者全員でつくった一人一人の居場所があります。講師の方が時計を見ながら「タイムは、4分06秒!速い!!」喋らなくともちゃんと伝え合えます。すばらしい!

○ 学習2 思い込みと思いやり

- ◇「赤白赤白赤と交互に並んでいる5つの玉を(A)次のルールのもとに、赤玉と白玉のかたまり(例 赤赤赤白白)に分けよう!」
- ◇ルール:玉は赤白のペアで動かす。動かせるのは5回。玉の移動によってできる空間は詰めない。(空けたまま)

「こうやって、こうやって・・・」子どもたちが、繰り返し赤白の玉を握っては動かし握っては動かしています。「こうじゃないの?」とお父さんが実演。そして「やっぱりちがうな～」講師の方にヒントをもらいながら、できたりできなかつたり。

「できた!できた!」と誇らしげに手を上げる子どもたち。「動かし方を教えてもらっていいかな?」と聞くと、「いいよ!いいよ!」と快く実演してくれました。なるほど～。さあ、皆さんもチャレンジしてみませんか。身近な物(基石など)を活用してできます。

東小学校では、総合的な学習の時間(内容や講師派遣など)について、まちづくり協議会(事務局)と連携して進め、親子の学習(家庭教育学級)を支えています。

◇ 高山短期大学附属幼稚園 かざぐるまの会 サロン型 基本的な生活習慣

○ 日時:令和6年7月16日(火) 午前 10:30~11:30 ○ 場所:幼稚園音楽室 ○ 主催:年少学年代表



高山短期大学附属幼稚園には、「かざぐるまの会」という‘年少の園児をもつ保護者が集まり、お喋りをする会’があります。

かざぐるまには何枚かの羽がーか所で留められており、風を受けてクルクルと回ります。この「かざぐるまの会」もかざぐるまのように、“人と繋がる”ことで育児を楽しむ原動力になれば・・・という願いが込められています。

同じ園(学校)にわが子が通っているというつながりを活かし、保護者の皆さんが「子育て・家庭教育」について情報を得たり学んだりつながりをつくったりすることは、子育てをする上でとても大切なことです。参加者にとって、互いの体験や経験による情報はとても参考になります。

「4ヶ月が経ちますが、皆さんのお子さんはどんな様子ですか?」「夏休み中はお子さんとどのように過ごしますか?」「新しくできた市民プールにはもう行かれましたか?」「私は朝の登園までのリズムを大切にしています。怒って送り出さないようにしています」・・・などなど、気軽に会話しながら子育てについての情報を交換していました。



- 参加者の声 -

Q あなたにとって「かざぐるまの会」は、どんな存在ですか?

A 今年初めてわが子が入園したのですが、親同士の顔が知れること、先輩の方からはお兄さんやお姉さんのときの話が聞けること、子ども同士の関係(「園で〇〇ちゃんと遊んだよ」など)が聞けることなど、様々な情報を得ることができてありがたいです。

- 役員の方の声 -

Q 案内を作成することは、負担ではないですか?

A 今はいろいろなテンプレートがあり、活用すると意外と簡単にできます。‘どんな案内だとみなさんが参加してくれるのか’を考えながら作成することが楽しいです。

開催の 日時・場所、駐車場 は、わかりやすく!

お知らせ の例

* 小さなお子さんと一緒でも大丈夫です。* 飲み物・食べ物の持参 OK です。* お父さんのご参加も大歓迎です。* 当日は保育中のため、各教室へお子様の様子を見に行くことはできません。

1 回目の参加者の感想の紹介

* 初めての幼稚園なのでいろいろ聞いてよかったです。* アドバイスもたくさんもらえて嬉しかったです。* 初めての参加でしたが和やかで話しやすかったです。次回もぜひ参加したいです。* 知り合いがあまりいないので、知り合いができてよかったです。

<P2 東小 学習 2 の正解例>

できたかな? 家庭でチャレンジ!

(もと) ●○○●● → ① ●○○●● → ② ●○○●● → ③ ●○○●●
④ ●○○●● → ⑤ ●○○●● → (完成) ●●●○○ * (移動前・移動後)

